



大幸薬品

2010年12月

## 大幸薬品が、胃アニサキス症の予防・症状改善のための薬剤として 木クレオソートの新たな活用方法を特許出願

大幸薬品株式会社（本社：大阪府吹田市内本町三丁目34番14号、代表取締役社長：柴田 高）は、木クレオソートもしくは木クレオソートを有効成分とする組成物（例えば正露丸）の胃アニサキス症の予防・症状改善のための薬剤としての活用方法を特許出願致しました。

アニサキス症とは、アニサキスの幼虫が寄生する魚介類を生で食べた時に、幼虫が胃壁や腸壁に侵入し、激しい腹痛をおこす、わが国でも多くみられる寄生虫症です。正確な症例数を確認することは難しいですが、日本国内でも1年間に少なくとも2,000～3,000件のアニサキス症が発症しているとする報告もあり、主に胃で発生すると言われています。対処法としては、消化管粘膜上の虫体を確認したうえで鉗子を用いてアニサキスを摘出（内視鏡検査をおこなって内視鏡下に鉗子で摘出）するしかなく、アニサキスに特異的で、かつ効果的な治療薬（薬剤）は今のところ存在していないと言われています。

今回の出願により、木クレオソートの胃アニサキス症に対する新たな活用が今後期待されます。

今回の特許出願に関する発明の概要は、以下の通りとなります。

### 【出願概要】

魚介類を生食後に激しい腹痛や嘔吐を伴う消化器症状が発症し、胃アニサキス症の発症が懸念される場合、木クレオソートもしくは一般家庭の常備薬である木クレオソートを有効成分とする組成物（例えば正露丸）を服用することで、原因となるアニサキスの運動を抑制すると共に、当該症状を軽減・消失させることが期待できる。また、予め予防的に服用しておくことにより（食事中あるいは食後に服用することにより）アニサキスが寄生する魚介類を生食しても、胃アニサキス症の症状が軽減されたり発症を抑えることが期待できる。なお、摘出術を施行する場合も、前処置剤として服用することでアニサキスの運動が抑制され、内視鏡による摘出（内視鏡検査をおこなって内視鏡下に鉗子で摘出）が容易となる。

当社では、今後も木クレオソートの効果に着目し、効果・効用など様々な研究を続けていきたいと考えております。